

## 令和4年度 第2回小平市図書館協議会要録

1 日 時 令和4年7月5日（火）午後2時から2時55分まで

2 会 場 中央図書館 2階会議室

3 出席者 委員：落合会長、神子委員、栗林委員、伊藤委員、小林委員、斉川委員、宮原委員、菅野委員、安形委員、計9名（欠席3名）  
事務局：利光中央図書館長、藤田（中央図書館長補佐兼庶務担当係長）、吉崎（小川西町図書館長）、田中（中央図書館資料担当係長）、馬場（仲町図書館長）、計5名

4 傍聴者 なし

5 配付資料

- ・小平市立図書館職員の異動について (資料No. 1)
- ・小平市立図書館行事等の報告と今後の予定 (資料No. 2)
- ・令和4年度小平市立図書館蔵書点検 前回との対比 (資料No. 3)
- ・令和3年度小平市立図書館事業統計 (資料No. 4)

6 議事

(1) 報告事項

①図書館運営状況について（資料No.2、3）

事務局： 資料2について、前回（5月17日）の本協議会から本日までの報告、ならびに次回の（9月20日）本協議会開催までの予定について記載している。

資料3について、本年度の蔵書点検はコロナ禍になる前とほぼ同じ形で実施することができた。令和3年度と比較すると、新規の不明資料は減ってきているが、継続しての不明資料数がやや増えている。

また、資料にはないが本年度は中央図書館職員1名を鶴見大学で開催される司書講習講座へ派遣する。

②令和3年度小平市立図書館事業統計について（資料No.4）

事務局： 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月28日から5月31日まで休館して予約貸出のみ行っていたことなどから、各統計データにも影響が出ている。

詳細については資料を確認いただきたい。

③学校図書館協力員の配置について

事務局： 学校図書館の運営支援、機能充実のために、市内の公立小・中学校全校に学校図書館協力

員を配置して、司書教諭や図書担当教諭のもと図書室を開室し、児童・生徒の利用の支援、図書の整理等を行っている。

新規の協力員の方々には、3日間の研修を行い、各学校で活動を開始していただいている。全協力員を対象とした研修は、例年通り6回程度を予定している。

#### ④市議会6月定例会について

事務局： 市議会6月定例会について、図書館に関係するところを報告する。

・虻川議員から、大沼公民館のエアコン修理の経過と今後の予定について質問があった。昨年の定期点検の際に故障が発見されたが、ガス空調で機械が古く、部品の入手が困難であること等から電気式空調への切り替えを行う。このことにより、配管工事が必要となるが都営住宅内の施設であるため東京都と調整の結果、窓を利用して配管を設置することとなった。現在も修理の準備段階である。

・生活文教委員会に付託された請願として、「採択された請願第4号「本の宅配貸出サービスを要介護1以上の方に限定せず、様々な理由で来館が困難な方にも拡大することについて」の実施を求めることについて」が審査された。

図書館として、今年度後半に実証実験を行い翌年度以降に実施予定である旨を答弁したことから、請願そのものが取り下げとなった。

会 長： (1)の報告事項について、質問等はあるか。

委 員： 事業統計の15ページにレファレンスの地区館ごとの件数が出ている。津田図書館の件数が令和3年の7月に急増している。また、小川西町図書館の参考調査の件数が突出して多いと感じる。前年比では花小金井図書館が非常に増えている。原因は何か。

事務局： 津田図書館の令和3年7月についての中身は確認していないが、夏休みの影響ではないかと推測される。レファレンスの集計については、カウントの基準が複雑なため数値のバラつきが出ているかもしれない。

小川西町図書館の参考調査は、地域性で福祉的な事柄を調べる人が多いからかもしれない。

花小金井図書館のレファレンスの件数は中央よりも多いが、もともと利用者が多いからではないかと思われる。

委 員： 図書の購入冊数がだんだん減ってきている。絵本で副本が3冊あり、全館に置いている時期もあった。図書館として購入の基準があるのか、選書担当者の判断によるものなのか。

また、団体貸出で学級文庫ゼロの小学校があるが、原因は何か。

事務局： 図書購入費が減っている。特に令和3年度は市全体の予算を6%ほど下げて編成している。そのため購入冊数も減っている。

平成13年当時は各館2冊、最大で22冊まで副本を購入することができたが、現在は

全館合わせて8冊までの副本の購入に抑えている。

学級文庫については、古かったり、傷んでいたりと資料の状態で見送っている学校もあると聞いている。図書館としては古い児童書の入れ替えを進めたい。

委員： 学校図書館協力員から各学校へ学級文庫の働きかけはしないのか。

事務局： 研修の機会などをとらえて働きかけはできる。

委員： 当校では、学校図書館の活用を推進するために学級文庫は置いていない。置いていない学校にはそのような様々な事情があるのではないのか。

委員： コロナの時期のため、子ども達が手に取った本を1冊1冊消毒していた時期もあった。そのようなことから団体貸出の利用を控える学校があるのもやむを得ない。

それぞれの学校で個別の事情があるのではないのか。

委員： 行事について、図書館の見学は小学2年生に実施しているが、どんな感想を持っているか。その後図書館利用につながったデータはあるのか。

また、夜のおはなし会はどのような会か。

教員研修は教育委員会として計画があつての研修なのか。

事務局： 図書館見学は、2年生に限らず何年生でも受け入れる。カウンターの使用方や本の種類などに関心を持つ児童もみられるが、具体的な感想まで把握はしていない。図書館の利用方法についても説明しているが、実際にどの程度利用に結びついているかは把握できていない。

夜のおはなし会は、夏場であるため少し怖いおはなしが中心である。

教員研修は、学校からの申し出による。図書館業務の体験をしてもらう。

委員： 推測だが、教員研修は中堅教員研修の一環であるボランティア等の項目に該当する。必ずしも図書館に興味があるとは言えない。

会長： 教員は10年目の研修が課せられている。その中のボランティア等の一環として図書館を選んでいるのではないのか。最初から興味があるわけではないかもしれないが、興味をもつ良い機会かもしれない。

委員： 夜のおはなし会については、図書館と子ども文庫連絡協議会が協力して夏休みに実施している。お話しとDVDなど、内容は各館で異なる。夜の外出や夜の図書館を楽しんでもらう趣旨と思う。夜のおはなし会では内容として、夜なので怖めなものを選ぶようにしている。お楽しみ会のひとつといえる。

会長： 昼間のおはなし会はあつたが当初は夜がなかった。図書館協議会で夜の時間帯を話し合い、図書館側で夜の時間を設定することになった。昼間は子どもだけでも来られるが、夜は大人が同伴するため、内容に配慮して怖い話にした。

委員： 現状は予約制で人数が限られているのか。

事務局： コロナにより、制限させてもらっている。

委員： 事業統計17ページ、累積統計について、市民一人当たりの貸し出し冊数、登録者数の推移の記載がある。市民一人当たりの貸し出し冊数は6～8の間であまり増えていない。富山県のある町が市民一人当たりの貸し出し冊数が30冊とニュースで聞いたことがある。今までの協議会の中で一人10冊を目指す等の運動をしたことはあるか。

登録者一人当たりの貸し出し冊数は昭和61年度くらいを見ると17、8冊である。最近10を割っていて、貸出の制度の変更などがあったか。

平成8年度あたりからの数年も10冊を切っている。波があるが、何か事情はあるのか。

数だけの話ではないが、市民一人当たり10冊を目指すなどすれば色々なアイデアが出てくるのではないか。

事務局：一人当たりの貸し出し冊数は、ある時期までは登録者数の増加と共に増えていた。平成16年に急に冊数が伸びたのは、一人当たりの貸し出し冊数の限度を10冊までに増やした時期である。平成の後半からの漸減は、世間一般的な読書離れという傾向があり、電子書籍に流れているのではないかと推察される。電子書籍を増やすことも一つの解決策になり得る。図書館の電子書籍の取入れ方を他市の動向を含めて検討していきたい。

委員：イベントや行事が充実しているが、市民のアイデアを集めてみて一緒に活動するのはどうか。

事務局：コロナ後は、図書館のイベントの一つに市民のアイデアの活用を検討したい。

委員：子ども文庫連絡協議会では以前より会議に市の職員と一緒に参加して意見を出し合い、協力をしているものの、大人向けの本についてはあまり意見を言う場が少ない。意見募集の紙を用意したり、懇談会、交流会を設けてもよい。

会長：なかかまちテラスティーンズ委員会等が交流のモデルとしてよいと思う。

委員：3年前から学校図書館協力員の名称を学校図書館司書に変更を求めており、変更を検討していると聞いている。先日、学校図書館で仕事をしている職員の仕事の名称を聞かれた教員が学校図書館協力員と返答していた。仕事に対するリスペクトを考えると早急に対策を立ててもらいたい。

委員：統計書の件で、蔵書の新鮮率がある。資料の種類によって必ずしも本は新しい方が良いとは言えない。数値の出し方が適切かどうか疑問である。

事務局：蔵書の新鮮率は以前から毎年同じ統計を取っており、図書を購入するに当たり、他市と比較するための補足的な資料である。一般的には新しい資料が多い方が良いという利用者もいる。そのような中で出された統計であるが、古いものでも価値のある資料はもちろんある。

## (2) 協議事項

なし

## (3) その他

なし

以上

(次回、令和4年9月20日(火)午後2時から開催予定)